

東京医科歯科大学 医学部
前期

平成 27 年度入学者選抜個別(第 2 次)学力検査問題

数 学
(医 学 科)

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は、全部で 7 ページあります。
3. 解答用紙は、問題冊子と別に印刷されているので、誤らないように注意しなさい。
4. 解答用紙には、必ず解答の過程と結果を記入しなさい。
5. 解答は、必ず解答用紙の点線より左に記入しなさい。
6. 下書は、問題冊子の余白を使用しなさい。ただし、切り離してはいけません。
7. 各解答用紙には、受験番号欄が 2 か所ずつあります。それぞれ記入を忘れないこと。
8. 解答用紙は、記入の有無にかかわらず、机上に置き、持ち帰ってはいけません。この冊子は持ち帰りなさい。
9. 落丁または印刷の不鮮明な箇所があれば申し出なさい。

1 n を自然数, m を $2n$ 以下の自然数とする。1 から n までの自然数が 1 つずつ記されたカードが, それぞれの数に対して 2 枚ずつ, 合計 $2n$ 枚ある。この中から, m 枚のカードを無作為に選んだとき, それらに記された数がすべて異なる確率を $P_n(m)$ と表す。ただし $P_n(1) = 1$ とする。さらに, $E_n(m) = m P_n(m)$ とおく。このとき以下の各問いに答えよ。

(1) $P_3(2)$, $P_3(3)$, $P_3(4)$ を求めよ。

(2) $E_{10}(m)$ が最大となるような m を求めよ。

(3) 自然数 n に対し, $E_n(m) > E_n(m+1)$ を満たす自然数 m の最小値を $f(n)$ とするとき, $f(n)$ を n を用いて表せ。ただし, ガウス記号 $[\]$ を用いてよい。ここで, 実数 x に対して, x を超えない最大の整数を $[x]$ と表す。

2 実数 a, b に対し, $f(x) = x^3 - 3ax + b$ とおく。 $-1 \leq x \leq 1$ における $|f(x)|$ の最大値を M とする。このとき以下の各問いに答えよ。

- (1) $a > 0$ のとき, $f(x)$ の極値を a, b を用いて表せ。
- (2) $b \geq 0$ のとき, M を a, b を用いて表せ。
- (3) a, b が実数全体を動くとき, M のとりうる値の範囲を求めよ。

3 座標平面上で次のように媒介変数表示される曲線 C を考える。

$$\begin{cases} x = |\cos t| \cos^3 t \\ y = |\sin t| \sin^3 t \end{cases} \quad (0 \leq t \leq 2\pi)$$

このとき以下の各問いに答えよ。

(1) 次の条件(*)を満たす第1象限内の定点 F の座標を求めよ。

(*) 第1象限内で C 上にあるすべての点 P について、 P から直線 $x + y = 0$ に下ろした垂線を PH とするとき、つねに $PF = PH$ となる。

(2) 点 P が C 全体を動くとき、 P と(1)の定点 F を結ぶ線分 PF が通過する領域を図示し、その面積を求めよ。

(3) (2)の領域を x 軸のまわりに1回転してできる立体の体積を求めよ。